

「バウンダリー設定」

「バウンダリー設定」とは、自分自身や他人を守るために、個人的な境界線を設定することを意味します。以下は、いくつかのテーマに関する例です。

身体的なバウンダリー設定：例えば、自分の体に触れられる場所や方法を決めることが含まれます。

子供たちは、自分たちがどのような触れ方をされるのが好きで、どのような触れ方をされるのが嫌いかを学ぶことができます。

感情的なバウンダリー設定：例えば、他の人が自分の感情をどのように扱うべきかを決めることが含まれます。子供たちは、怒りや悲しみなどの感情を自分で認め、自分自身や他人に対してどのように表現するかを学ぶことができます。

プライバシーのバウンダリー設定：例えば、自分の個人的な情報をどのように共有するかを決めることが含まれます。

子供たちは、自分自身が情報を共有したい場合や、どのような情報を共有することが適切かを学ぶことができます。

社交的なバウンダリー設定：例えば、友達との遊び方や、他人に挨拶する方法を決めることが含まれます。

子供たちは、他人との交流を通じて、適切な社交的なスキルを学ぶことができます。



「カオスの中の安心感」

「カオスの中の安心感」とは、ストレスや混乱の状況にあっても冷静で自信を持って行動できる能力を意味します。

以下は、いくつかのテーマに関する例です。

対人関係におけるカオス：例えば、友達との喧嘩やグループの中でのいじめなどが含まれます。

子供たちは、自分自身や他人を守り、自分の意見を表明する方法を学ぶことができます。

身体的なカオス：例えば、競技中の混乱や、ケガをした場合が含まれます。

子供たちは、冷静で自信を持って行動するための技術を学び、自分自身や他人を守る方法を身に付けることができます。

感情的なカオス：例えば、怒りや不安、ストレスなどの感情が含まれます。

子供たちは、感情を認め、自分自身や他人に対して適切な方法で対処することができます。

プライバシーのカオス：例えば、自分の個人的な情報を漏らしてしまった場合が含まれます

。子供たちは、混乱やストレスの状況でも自分自身を守るために、プライバシーを守る方法を学ぶことができます。



「ストレンジャー・デンジャー」

「ストレンジャー・デンジャー」とは、知らない人に対して警戒することを意味します。

以下は、いくつかのテーマに関する例です。

学校や公園などの公共の場所でのストレンジャー・デンジャー：例えば、知らない人が子供に声をかけたり、近づいてきたりする場合があります。

子供たちは、自分自身を守るために、知らない人との接触に対して警戒することを学びます。

インターネット上でのストレンジャー・デンジャー：例えば、オンラインでの知らない人とのコミュニケーションや、不適切なコンテンツに触れてしまうことが含まれます。

子供たちは、自分自身を守るために、インターネット上での知らない人との接触に対して警戒することを学びます。

自宅でのストレンジャー・デンジャー：例えば、知らない人が自宅に入ってきたり、電話で声をかけてきたりする場合があります。

子供たちは、自分自身や家族を守るために、自宅での知らない人との接触に対して警戒することを学びます。

スクールバスや道路でのストレンジャー・デンジャー：例えば、車に乗り込んでしまったり、知らない人から声をかけられたりする場合があります。

子供たちは、自分自身を守るために、スクールバスや道路での知らない人との接触に対して警戒することを学びます。

「ヘルプ・アザーズ」



「ヘルプ・アザーズ」とは、他人を助けることを意味します。

以下は、いくつかのテーマに関する例です。

グラウンド上でのヘルプ・アザーズ：例えば、負傷した友達を手助けしたり、道を迷っている人を誘導したりする場合があります。子供たちは、周りの人を助けることができるように、共感や思いやりを育むことを学びます。

学校でのヘルプ・アザーズ：例えば、先生や友達が手伝いを必要としている時に手を貸したり、授業中に質問をする人を支援したりする場合があります。

子供たちは、学校での協力やチームワークの大切さを学びます。

コミュニティでのヘルプ・アザーズ：例えば、高齢者や障害者の人々を手伝ったり、地域の清掃活動に参加したりする場合があります。

子供たちは、コミュニティの一員として、自分たちの力で地域をより良い場所にすることの意義を学びます。

家庭でのヘルプ・アザーズ：例えば、家族の手伝いをすることや、家事を担当することが含まれます。子供たちは、家族や周りの人を助けることが、自分自身や周りの人々の生活を豊かにすることを学びます。